

第64回群馬県理科研究発表会

令和元年11月10日(日) 群馬大学荒牧キャンパス

「群馬県理科研究発表会」は、小学校から高等学校までの「ミニ研究者」たちが、日頃の研究の成果を発表するものです。高等学校では、ポスター、物理、化学、生物、地学の5部門があり、各部門でもっとも優れた研究発表(最優秀賞)が、次年度の高等学校総合文化祭自然科学部門に参加する資格を得ます。

本校からは、生徒12名が各部門に分かれて11の発表を行いました。生徒たちにとっては、1年間で最も大きな発表会であるため、発表前日まで実験や発表資料の作成を行い、持てる力をすべて発揮できるよう、努力を続けてきました。その結果、2つの部門(ポスター部門、化学部門)で最優秀賞を獲得することができました。これら以外にも複数の発表が入賞することができました。以下に入賞結果と研究テーマの一覧を記します。

【ポスター部門】

最優秀賞 「自然由来の界面活性剤を作る～サポニンに注目して～」
審査員奨励賞 「リンゴ果実のエチレンガスによるバレイシヨの萌芽抑制」

【化学部門】

最優秀賞 「肉の旨味を引き出し柔らかくする方法は～相互作用による味付けの効果に迫る～」
自然科学部会長賞 「洗面所にある固形石鹼は清潔なのか」

【物理部門】

審査員奨励賞 「ヘアピンがずれにくい?!～効率の良いピンの留め方～」

【地学部門】

審査員奨励賞 「スマホのぼうしはブロッケン現象か」

生徒たちの努力の成果が実り、これまでで最も多くの入賞を獲得することができました。



ポスター部門の発表



ポスター部門の発表



生物部門の発表



ポスター部門の表彰式